

# 協議会だより

発行・編集 大阪障害者スポーツ指導者協議会 広報部

大阪市東住吉区长居公園 1-32 大阪市長居障害者スポーツセンター内

TEL 06-6697-1402 FAX 06-6697-8613

平成20年9月20日

第58号

平成20年4月27日(日) 平成一九年度、年次総会が行われました。たかつガーデン(大阪府教育会館)において、平成19年度、年次総会が行われました。出席者 30名で成立とする。

委員長 1735名  
委任状 311名  
出席者 30名

あいさつ  
会長 松本 晃

本日は絶好の行楽日和にも関わらず総会に参加していただきありがとうございます。この会も協議会になる前の連絡会という会から計算すると18年目になります。私も30代後半で、この会に入りました。けれど、現在55歳になって歳月の流れる速さを痛感しています。

今年度は北京でオリンピック、パラリンピックがあります。我々、協議会としても、国内の大会等のサポートを協力し、会が発足した当初の目的である、地域に根ざした障害者スポーツ指導を頑張っていきたいと思えます。

2008 ジャパンパラリンピック

陸上競技大会

平成20年6月22日(日)

大阪市長居陸上競技場において開催されました。

天候には恵まれず、室内での開・閉会式となりました。

高レベルの競技者による大会は、観る側にとっても大変おもしろいです。

今年度はオリンピック・パラリンピックの年でもあったため、それぞれの選手の表情も選手の意気込みも違ってかっこよく見えました。(広報・松浦)



## 大阪府・大阪市・堺市

### 障害者スポーツ大会

平成20年5月～6月の中旬にかけ、障害者スポーツ大会が開催されました。開催競技として陸上競技、卓球競技、サウンドテーブルテニス、水泳、フライングディスク、アーチェリー、ボウリングが行われました。

10月11日～13日に開かれる第8回全国障害者スポーツ大会の選手選考も兼ねています。府・2市から選ばれた選手の皆さん、練習の成果を思いっきり発揮し頑張ってください。チャレンジ! おおいた大会にトライ。

次号では、全国障害者スポーツ大会を思いっきり紹介したいと思いますので、楽しみにしてください。

#### 平成20年度 事業計画について

##### 事務局

各種ボランティア要請・各種発送業務等について迅速に対応・対処することとしたい。また、協議会の会員が意欲的にボランティア活動やスポーツ指導をしていただけるよう努力したい。

##### 研修部

全国障害者スポーツ大会の種目の実技を中心に研修を行うこととする。

研修回数は年2回を予定し、研修内容は随時決定する。

##### 広報部

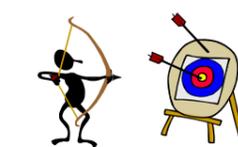
平成20年度は、ホームページの開設と共に広報紙も平行し、報告・活動が少しでも多く発信できるように努めたい。



大阪障害者スポーツ指導者協議会ホームページ開設

アドレス <http://www.v-aid.org/shidousya> 是非 ご覧下さい

平成20年度 役員・理事	会長 松本 晃	副会長 増野 慈一	副会長 永島 久義	事務局 兼田 理香	森近 久子	平野 睦子	川本 敏一	広報 松浦 春代	鈴木 光一	吉田 恵一	松田 靖史	研修 中野 薫	加島 多美子	山林 須美江	高橋 実代子	福西 拓也	理事 亀山 玉枝	左奈田 満司	松田 恭子	(は部長)
--------------	---------	-----------	-----------	-----------	-------	-------	-------	----------	-------	-------	-------	---------	--------	--------	--------	-------	----------	--------	-------	-------



編集後記  
・総会に出席者が少ないのが残念です。交流ができる場なのに。今年度は是非出席をしてください。  
・全国障害者スポーツ大会は、毎日頑張って練習をした成果が発揮できる場だと思えます。指導者の皆さん応援しましょう



## 基調講演

### 今、この時！陸上競技に関わって思うこと

講師 山本 篤さん



- ・ 17歳のときにオートバイで単独事故をする
- ・ 粉碎骨折になり、救急車で病院に運ばれる。
- ・ 看護師に足をさわられるが、感覚がない
- ・ 2週間後、血管がつまり足の指が冷たくなってくる。
- ・ 2週間後、切断の手術。
- ・ 大腿切断の手術が終わるまで熱が出続けて考える余裕がなかった。
- ・ 切断して2週間後、学校に通い始める。
- ・ 1ヵ月後、義足をつけてリハビリ開始。
- ・ 6ヵ月後、スノーボードを開始する。
- ・ 専門学校に入り、大腿義足法を研究している先輩に出会う。(稲葉氏。筑波大学院卒)
- ・ 2年後、陸上を本格的に始める。

初レース 2002年5月

100m 17秒36 当時日本記録 13秒86

夏に稲葉氏のところに行き合宿をする。

9月のレース 14秒06

2003年11月 13秒83 日本記録奪取

アテネA標準記録 13秒70

3月の大会でアテネ標準記録破ずれ、切符を逃す

2004年 大阪体育大学入学

5月 ジャパンパラリンピック(長居スタジアム)

13秒54 日本記録を大幅に更新

しかし、アテネの選考には遅くてアテネにはいけない。

10月 走幅跳 5m45 日本記録奪取

アテネの結果が5m43が3位であった

2005年は記録が低迷した。

ヨーロッパ選手権

100m 13秒75 5位 200m 28秒43 4位

走幅跳 5m36 銅メダル



技師装具士の国家資格を持っているので、数年技術を磨くために働く。  
その後、義足を作れて陸上のコーチもできる人になりたいです。そして、アスリートを育てるのが夢です。

## プロフィール

障害者スポーツの選手ながらスポーツ推薦で大学入学を成した義足のアスリートとして、身長168cmながら1mを越すジャンプ力でバレーボールのアタッカーとして活躍していたが、バイク事故によって左足をももから切断。日本聴能言語福祉学院義肢装具学科で陸上に出会い、アスリートとしての本能が疼いたことで大阪体育大学に進学。

困難な状況を持ち前のプラス思考で乗り越える屈強なアスリートである。

2006年5月

パラリンピックチャレンジド(ドイツ)

100m 13秒11 銀メダル

走幅跳 5m06 金メダル

2006年9月 IPC世界選手権

100m 13秒72 銅メダル

200m 28秒88 5位

走幅跳 4m77 4位

4x100mリレー 47秒02 銀メダル

2006年11月

フェスピック クアラルンプール大会

100m 13秒59 金メダル

100m 29秒44 銀メダル

走幅跳 5m46 金メダル

大学入学当時	大学卒業時
--------	-------

100m : 13秒89	12秒78
--------------	-------

走幅跳 : 4m42 cm	5m90 cm
---------------	---------

大阪障害者スポーツ指導者協議会 総会

来賓 ごあいさつ

前大阪市障害者スポーツセンター館長  
綿貫 信和

平成18年度、指定管理制度が導入されてこの障害者スポーツの非常に厳しい競争の中にさらされている。

大阪市障害者スポーツセンターの管理運営のコンセプトですが、1つ目が障害のある誰もがいつひとりでも、仲間や指導者がいるいろいろなスポーツが楽しめる施設。

2つ目がリハビリテーションとして、自発的なスポーツ。パラリンピックもある。

3つ目が5つのTION(ジョン)、リハビリテーション・体力の回復、維持増進。コミュニケーション・友達作り、仲間作り。レクリエーション・楽しい。コンペクション・競技。AS SPORTS FOR ALLとノーマライゼーション。スポーツは、それぞれの人のものということを通して障害者スポーツにとってのノーマライゼーションを作っていく、そういう中で障害者スポーツセンターだけでなく、地域から障害者スポーツセンターという事をコンセプトとして運営している。

平成19年、長居が約34万人、舞洲が26万人とほぼ60万人近くの方が利用されておりますけれども、その3割がサポーター、介助です。残り35万人位が障害のある方、子どもです。この内、65%が大阪市。残りが府下。他市町村となっております。大阪市の障害のある方、手帳の登載者が約15万人程ですが、そのうちわずか1万人がリピーターという事で、なかなか利用されていないのが現実です。

そういう中で厳しい、指定管理制度に勝ち抜いていこうということで我々、長居・舞洲の両スポーツセンターは、平成18年度から障害のある方の地域における、スポーツを楽しむ基盤政教を作っていこうと、障害スポーツの地域プロジェクトを展開しております。これについても、約2000~5000の方が参加するのを行政府で参加されているけれども、そのアンケートは長居に行きたくても行けない、舞洲に行きたくても行けない、だからプロジェクトが来るのが楽しみだ。

このように書かれています。大阪府下で約500人近い方が障害者の指導者登録をされている。けれど、なかなか地域の方でも結果を頂けないと言う事が、我々の方で呼びかけてそれぞれの行政府で我々と共に、障害のある方あるいは子どもたちの身近な地域でスポーツレクリエーションを楽しんで頂ける基盤政教作りをやっていきたい、その中核にある大阪障害者スポーツ指導者協議会が是非ともなって頂きたいということをお願いすると同時にこれからの協議会の発展を祈念いたします。